



DEN

No.12

2014.4.21発行

作業療法を伝える — NEWS&COMMUNICATION

心豊かに作業療法



CONTENTS

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1 教えて！作業療法 | 10 シリーズ 作業療法士の視点から② |
| 2 まんが作業療法物語 ～通所編～ | 11 作業療法の啓発普及活動の紹介 |
| 7 施設紹介 / 明和記念病院 | 13 以心DEN心 |
| 8 生活行為向上マネジメントとは | 14 活動報告 |
| 9 大分大学開放イベント2013 特別講演 | |



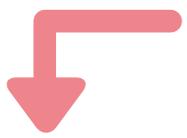


通所リハビリテーション

通所リハビリテーション(デイケア)とは

要介護者(要支援者を含む)が利用できる介護保険の通所サービスです。病院や介護老人保健施設などに併設された事業所で、作業療法士などによるリハビリテーションを受けることができます。

※要介護(要支援)認定が必要です。
各市町村にお問い合わせください。



具体的には、病気やケガにより体に何らかの障害がある方、認知症で日常生活に困難を生じた方、嚥下障害により食べ物が上手く食べられない方、言語障害がある方など、様々な方が利用できます。

日常生活動作の練習

排泄動作 床からの立ち上がり動作



利用者個人にあわせて日常生活に支障をきたしている動作の練習やアドバイスを行います

家事練習

調理動作 洗濯動作



家事動作の自立や家庭内での役割の獲得に向けた練習を行います

外出練習・屋外活動

公共交通機関の利用 畑仕事



日々の生活が不活発とならないよう外出練習や屋外活動を通して社会参加を促進します

身体機能訓練

集団体操 運動器具を使用した訓練



疾患に合わせた個別訓練を行い、諸動作に必要な身体・運動機能の改善を図ります

余暇活動

ゲートボール 手芸



スポーツや園芸、手芸などの楽しめる活動を通して、利用者同士の交流や趣味の獲得を促します



通所リハビリテーションでは、食事や排泄・入浴などの身の回りの動作から家事や趣味に至るまで生活全体のニーズに応じた関わりを行います

具体的なサービス内容は、各事業所により違いがあるので、確認が必要です。

まんが 作業療法物語

～通所編～



おおいだ ちゆうじ
大分療子

Aさんは80歳代の女性です

息子夫婦と孫2人の5人で暮らし、
共働きの息子夫婦や孫2人のために、
毎日料理や洗濯などの家事を担ってきました

ご飯
できたわよー!



しかし、孫が2人とも
県外の大学へ進学したことをきっかけに、

なんだか
淋しくなったわね



テレビの前でボーっとしていることが増えていきました

そんなある日、
洗濯物を干そうと庭へ出た際に転倒し、
大腿骨を骨折
手術のために入院することになりました



3か月間リハビリテーションを行った結果、自由に歩いて移動でき
身の回りのことも一人のできるようになったため、退院しました



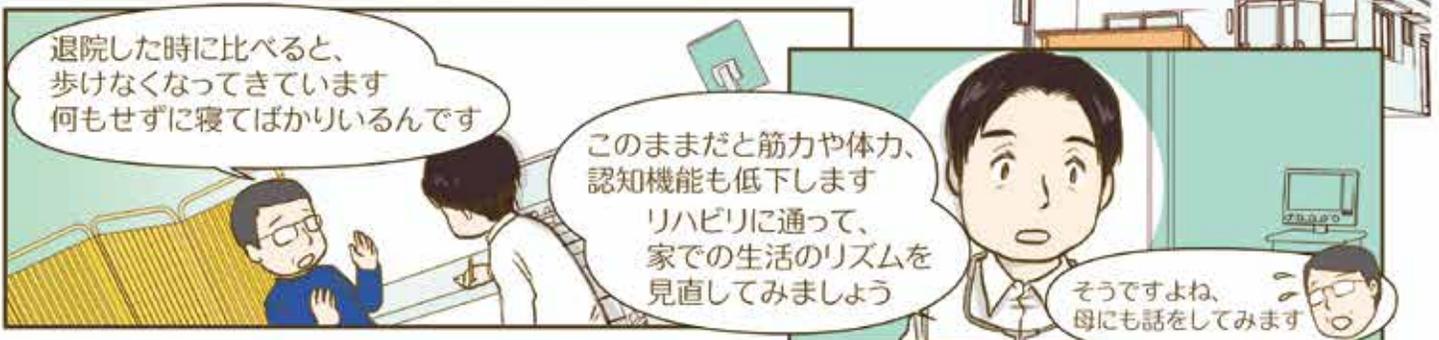
しかし、退院してからというもの以前にもまして動こうとせず、
1か月後には、人の手を借りないと歩けないまで能力が低下し
ベッド上で過ごす時間がどんどん増えていきました

そんな A さんの様子を心配した息子夫婦は担当医に相談へ行きました

退院した時に比べると、
歩けなくなってきています
何もせずに寝てばかりいるんです

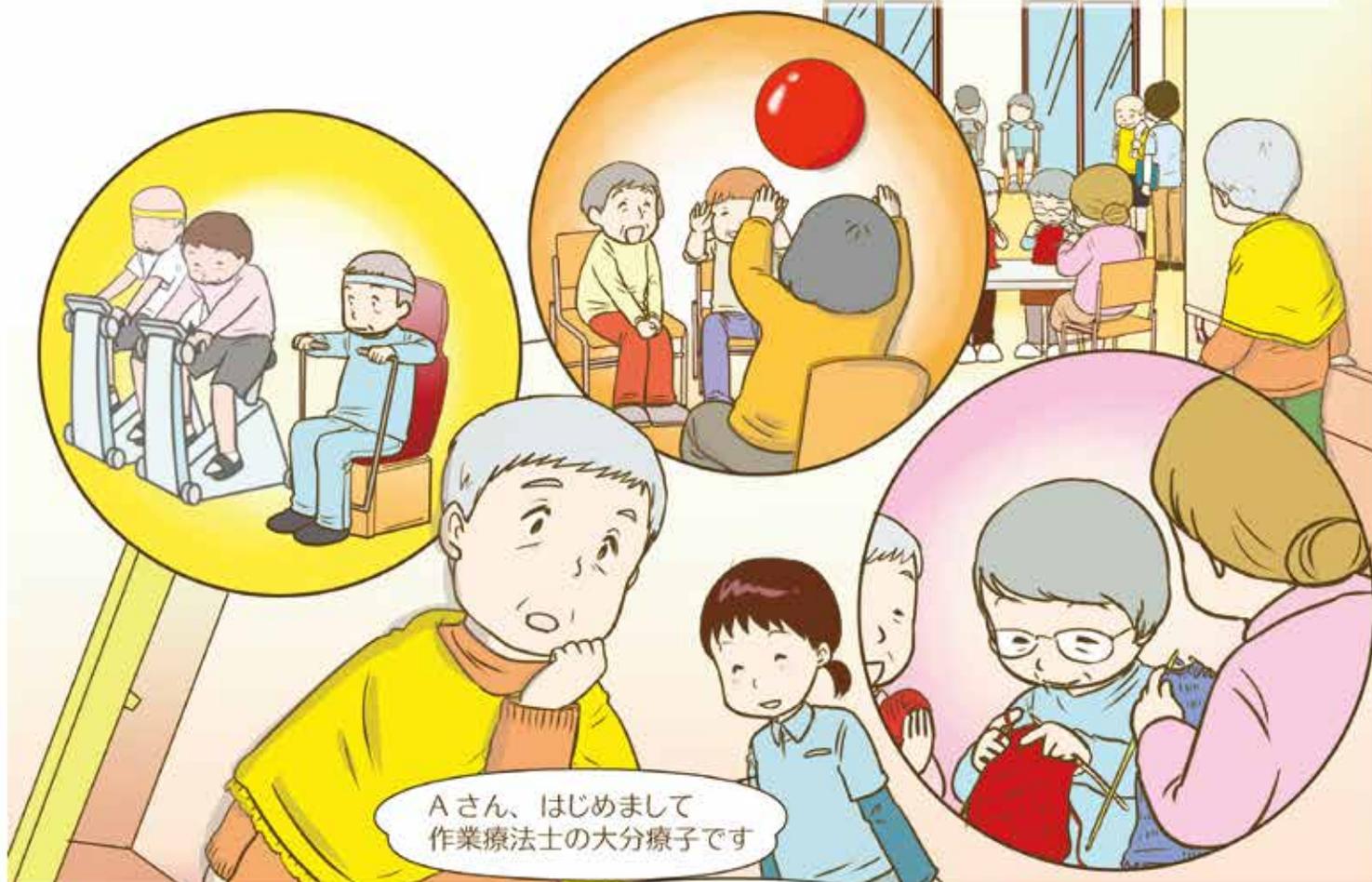
このままだと筋力や体力、
認知機能も低下します
リハビリに通って、
家での生活のリズムを
見直してみましよう

そうですね、
母にも話をしてみます





デイケアでは、それぞれの利用者さんの目的に沿ったリハビリテーションを個人または集団で行っています



A さんは人見知りで遠慮がちな性格であり、なかなかなじむことができません

他の利用者さんたちから声をかけられても輪に入らず、一人で過ごすことが多い状況でした



そんなある日、デイケアでクリスマス会が行われました

メリークリスマス!
今日はスペシャルゲストが
来てくれてます

それではどうぞ

こんにちは

近所の幼稚園から来た子供たちがクリスマスソングを披露してくれました

真っ赤なお鼻の〜

かわいいわね〜

ありがとう
すごく上手だったよ

おばあちゃん、
いつまでも
元気でいてね

そうだ!

子供たちとふれ合うAさんの様子を見て、
療子はAさんのデイケアでの活動参加へのきっかけを思いつきました

翌日

Aさん、昨日の子供たちにお礼のプレゼントを作ろうと思うんですが、手伝ってくれませんか?

私にできるかしら...

でも、子供たちにお礼はしたいわねえ

Aさんは手工芸のグループに参加し、子供たちへのプレゼントにお手玉づくりをしてもらえるようになりました



うわあ、さすが上手ですね!

昔はこうやってみんな手作りのもので遊んでいたからね

Aさんは針仕事がお上手ですねよくこのようなことはされていたんですか?

そうね昔は孫にいろんなものを作ってあげていたわ

なんだか懐かしいわね



Aさん、一緒に幼稚園に行って子供たちにお手玉遊びを教えていただけませんか?



子供たちには会いたいけど、私が行って大丈夫かしら...

幼稚園では移動することが多いかもしれないので杖を使って少しずつ歩く練習もしませんか? 少し体力もつけておかないと

そうね



体力の回復と弱った足腰の筋力をつける目的で歩行訓練を行うようになりました



歩ける距離が増えるにつれて、段差昇降訓練も併せて行っていました



明日から連休ですから、これだけ家で作ってもらえませんか?

ええいいわよ



自宅で何もしていない時間を減らすため、作業を自宅に持ち帰ってもらいました

あら、お手玉ねこれどうするの?

幼稚園の子供たちへプレゼントするのよ~

やっぱり母さんは、誰かのために頑張っている時が一番いい顔してるよ

自宅で作業をすることで、家庭内での会話も増えてきました

送迎時：Aさん宅



お家での様子は
いかがですか？

最近すごく表情がよくて
寝て過ごすことも
なくなりました



家の廊下で歩く練習を
しているんですよ

幼稚園訪問当日



こんにちはー！

あー!! この間の
おばあちゃんたちだ!



わー



また、
遊びに来てね

またね



まだまだ元気で
いないといけませんね

ほんとね
頑張るわよ~!

Aさんは子供たちとの交流をきっかけに、
デイケアでも自主的に運動を行うなど活動量が増えていきました

それに伴い、少しずつ料理の手伝いや掃除などの
家事も少しずつ行うことができるようになっています



Aさんは今日も元気にデイケアへ通所し、
いきいきとした生活が送れるよう頑張っています

おわり



生活行為向上 マネジメントとは

生活行為向上マネジメント推進プロジェクト委員 大分県代表

事務局 総務部長 佐藤 友美
(介護老人保健施設 健寿荘)

「生活行為向上マネジメント」は、全ての人が健康感を持ちながら生活するための考え方と、その方法を示したものです。私たちは、身の回りのことを自分自身で行うだけでなく、毎日の生活で趣味、生きがい、社会参加など個人にとっての「意味のある生活行為」を続けることや、その結果から満足感や充実感を得て、元気であることができます。身近な例では、寝不足や疲れを感じていても、「友人と食事にでかける」、「スポーツをする」など、心から「楽しい!」と感じることをしているとき体の不調は忘れてしまう、といった経験があると思います。また、ある仕事がうまくできるようになると、もっとできることがないかと意欲がわいてくる経験もあるでしょう。何らかの疾病やハンディキャップがあっても、全ての人がそれぞれの「意味のある生活行為」を行える可能性があり、実現することで元気になれる。これは、作業療法の根底にある「人は作業を希求する存在である」¹⁾という哲学に基づいています。

日本作業療法士協会は、生活行為向上マネジメントを作業療法士の“30センチものさし”とすることを目標としており、全ての作業療法士が理解し、駆使できるツールとなることを推進しています。大分県作業療法協会においても、継続的に研修会を行い、医療・介護の領域のみならず、地域ケア会議や介護予防等で活かしていくことを目指しています。

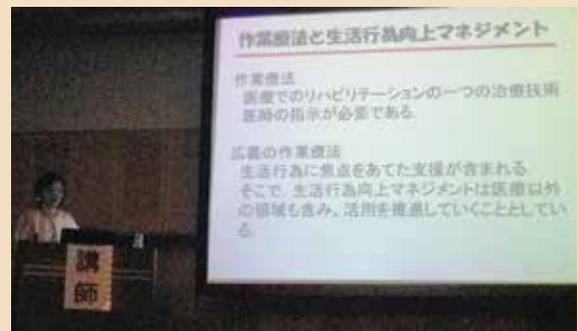
具体的な内容や使用例は、次号以降お伝えすることを予定しています。ご期待ください。

1) 鎌倉矩子(2001). 作業療法の世界 作業療法を知りたい人・考えたい人のために. 三輪書店
参考文献: (社)日本作業療法士協会監修. “作業”の捉え方と評価・支援技術 生活行為の自律に向けたマネジメント. 医歯薬出版株式会社

第31回全体研修会 ～生活行為向上マネジメント～



平成25年10月6日、大分県消費生活男女共同参画プラザアイネスにおいて、「第31回全体研修会～生活行為向上マネジメント～」を開催しました。講師に佐藤友美氏(介護老人保健施設 健寿荘)を迎え、『生活行為向上マネジメントの理解と普及の推進』を目的に行われ、64名が参加しました。生活行為向上マネジメントについての説明や実践報告及びグループ演習を行いました。



大分大学開放イベント2013 特別講演

はじめよう、つづけよう、生き生き自分生活 ～人は『作業』することで元気になれる～



平成25年11月4日(月)、大分大学の蒼稜祭(学園祭)と同時開催された「大分大学開放イベント2013」の特別講演を企画する機会を得て、(一社)日本作業療法士協会 中村春基会長にご講演いただきました。「地域社会とともに」という開放イベントのテーマに沿って、人は自分にとって意味のある『作業』をすることによって地域社会で自分らしい生活を元気に送ることができることを、一般の方や学生など多くの方々にお話しいただきました。

中村会長は「脳血管障害などの障がいをもった方々の中には『死を考えたことがある』という方が多くいます。その方に寄り添い、何が大切かを良く考えることが重要です。家族、人との出会い、生活歴、パーソナリティ、作業を行う環境。障がいをもった方々が自ら作業を選択し継続して行えるようになることが大切です。そこで今日は、皆さんにぜひ出会っていただきたい方がおります！」と言われ、神戸在住の松本節子さんを紹介されました。

松本さんは、50歳代で脳内出血を発症、左片麻痺に加え、左半分の空間を無視するという症状をお持ちですが、卓球などの作業を通じてまさしく心身ともに元気に、生き活きと生活されている方です。病後に取り組みされた卓球を通じてたくさんの仲間ができ、またご主人のサポート

もあって全国各地で行われる大会などにも参加されています。また、卓球のほかにも、料理や水泳、吹き矢、旅行などいろいろなことに次々と挑戦され、人生を多いに楽しんでいらっしゃいます。当日は、得意の卓球や吹き矢で学生と対戦されるなど会場は大いに盛り上がり、最後に松本さんは笑顔で「作業は私にとってなくてはならないもの」と話されていました。

今回、中村会長の講演に加え、松本さんのお話をお聴きすることができ、改めて「作業療法とは一体何か?」、そして「作業療法とは誰のためにあるのか?」ということを考えさせられました。今後も私たち作業療法士は、一人でも多くのみなさまが生き活きとした自分らしい生活が送れるよう「人は作業をすることで元気になれる」ということを発信し、実践していきたいと思えます。

「地域ケア会議における作業療法士の役割」について

常務理事 佐藤 暁
(井野辺病院)

前回、地域ケア会議多職種派遣事業の「概要」を紹介いたしました。今号はその地域ケア会議における作業療法士の役割を紹介いたします。

地域ケア会議とは、要支援・要介護者を元気にするケアプランを実行していくために日常生活動作の自立を阻害する要因の追及を多職種協働による協議において課題解決していく会議です。作業療法士は“生活機能”をキーワードに、健康状態の視点だけでなく、心身機能・活動・参加・背景因子(個人・環境)の面から幅広く捉え、アドバイスすることが重要です。また、これらのアドバイスは相手に適切に伝わることで本領を発揮します。時として作業療法士の常識が相手にとっては非常識かも知れないということを理解しておく必要があります。更に議論の根幹となる介護保険制度への理解を深めておく必要もあります。

そのために当協会では、作業療法士の「専門性」、「伝える力」、「介護保険制度の理解」を兼ね備えた人材育成を目的とした研修会等も実施しています。

今回、シリーズ2回にわたり地域ケア会議の取り組みを紹介しました。これからも、これまで以上に地域の中で作業療法士が必要とされる職種になれるよう日々精進していきたいと思います。



(公社)大分県作業療法協会・大分県作業療法士連盟 新入会員歓迎会

益社団法人 大分県作業療法協会 新入会員歓迎会



平成25年10月5日(土) 豊の国健康ランド

今年度も多くの新人会員が入会し、大分県内の病院、施設から会員が集まり親睦が深まる会となりました。これから、医療機関や地域などさまざまなところで活躍してくれることを期待しています。

作業療法の 啓発普及活動の紹介

2013年9月～11月

大分県作業療法協会では、県民の皆様の健康や福祉の増進に寄与できるよう、作業療法の普及啓発に努め、様々な事業に取り組んでいます。また地域に密着し、地域から必要とされる存在になれるよう協会ビルでの相談窓口や地域サロンへの出張講座等を実施しています。

がん征圧・患者支援チャリティーイベント 「リレーフォーライフジャパン2013大分」への参加

H25年9月14日(土)～15日(日)
大分スポーツ公園 大芝生広場

当協会としては5度目の参加となりました。二日間にわたり、がん患者や家族の方と一緒に、交代で夜通しグラウンドを歩き続けました。



王子西南地区サロン 「脳卒中の予防講座」

今回のテーマは、「日々の活動の大切さを考えよう～今日からできる脳卒中の予防～」と題し、講演と予防体操を行いました。



H25年9月20日(金)
大分西部公民館

「9月25日は作業療法の日」 協会ビル開放イベント 相談窓口

地域住民の方々に対してリハビリテーションの相談窓口を設け、広報用のウエットティッシュ・パンフレットの配布を行いました。近所の方々から声をかけられるなど、少しずつではありますが地域に認知されていることを実感しました。



H25年9月22日(日)
大分県作業療法協会ビル

第17回市民健康福祉まつり 作業療法ミニフェスタin日田

H25年10月6日(日)
パトリア日田

プラ板、フラッグ作成。
作業療法の説明、パンフレット配布。

お子さんを中心に200名程の方が当協会のブースに来場されました。



第14回大分県保健医療団体協議会・げんきフェア 作業療法コーナー設置

H25年10月13日(日)
全労済ソレイユ

作業療法の説明、パンフレット配布。

作業療法への関心を高めてもらうよう、クイズ形式のパネルを展示しました。保健医療団体以外にもアンプティサッカーのメンバーも参加しており交流を持つことができました。



センターまつり2013 作業療法コーナー設置

H25年11月10日(日)
大分県社会福祉介護研修センター

プラ板作り、作業療法の説明、
パンフレット配布。

家族連れの方が多く会場は大変賑わっていました。子どもさんだけでなく親御さんもプラ板作りに熱中していました。



第3回ふるさとまつり 作業療法コーナー設置

H25年11月10日(日)
フレッシュランドみえ

プラ板作り、作業療法の説明、
パンフレット配布。

参加者の中には作業療法について知りたいと言われる方や、毎年来場を楽しみにしている家族もいらっしゃいました。



春日まつり 作業療法コーナー設置

H25年11月24日(日)
春日町小学校

作業療法の説明、
パンフレット配布、
フラッグ作成。

春日地区の方との交流を多く持つことができました。地域の民生委員の方から作業療法に関連する相談窓口の開設依頼がありました。



生活の調味料



常務理事
藤原 一
(藤華医療技術専門学校)

唐突ですが、「何を楽しみに生活していますか？」と問われたらなんと答えますか？ 意外にもこの質問に即答できる方は少ないのではないのでしょうか。

大抵の人は「う～ん」と、しばらく思い起こす時間をおいて、「毎晩の晩酌が楽しみだ」「テレビドラマを見ること」「愛犬の散歩」など様々な返答が返ってきます。経験上、みなさんの返答で概ね共通していることが2つあります。それは、「うーん」と考える間を必要とすること、そして何気ない普段の生活の一部を答える方が多いようです。

ここで、間を置くことと普段の生活を挙げるとことから考えると、みなさん普段の生活の中で楽しさを意識していない方が意外と多いのではないのでしょうか。

もう一つ質問です。「これからの生活、どうなりたいですか？」と問いかけた場合はどのように答えますか？ この質問に関してはほとんどの方が即答し、「楽な生活をしたい」「時間とお金が欲しい」と希望や要望を聞くことができます。障害を持った方への質問でも、「ゆっくりお風呂に浸かりたい」「右手で食事を摂りたい」と話されることが多いです。生活に何らかの障害を負っている方は、生活が不自由になると日ごろできていたことが目標となり、幸せな生活を送っていたことに気付かされるのです。

このことから、今の生活の中で幸福感は感じていない、しかしこれからの願望は持っているということが言えるでしょう。

作業療法は対象者のQOL(生活の質)の向上を目指します。ということは、生活に支障のある方、健常な方まで対象者となり得ます。何気ない生活の中で、楽しさを意識することができれば生活に張りがでて、生きがいへと繋がるものだと思います。

私たち専門職は、一般的にはこうなることが対象者の幸せになると、援助をする際に価値観の押しつけになってしまう危険性が潜んでいます。また、対象者の方々も専門職の提案を「そんなものだろう」と受け入れる傾向があるのも事実です。

これは、お互いの気遣いから真の目的に向かわず、時間と労力が回り道している状況と言えるでしょう。こちらから提供するのではなく、自然と自らの幸せを感じ取っていただけるような援助が必要です。その作業のお手伝いをするのが作業療法士の仕事です。

作業療法が、病や怪我から不自由のある要支援者に限らず、身体的に健常な方まで含む人々の生活の調味料となって、何気ない生活が味わい深くなっていただくこと、そして幸福であると実感していただけるような関わりと援助を提供していきたいものです。



活動報告 2013年10月 ▶ 2014年1月

啓発普及活動

第17回市民健康福祉まつり 作業療法ミニフェスタ in 日田

[大会規模：約1200名／ブース来場者：約100名]

日 時：平成25年10月6日(日) 9:30～15:00
場 所：日田市市民文化会館パトリア日田
内 容：フラッグ・プラ板作成、リハビリテーション相談

第14回大分県保健医療団体協議会げんきフェア 作業療法コーナー設置

[大会規模：約120名／ブース来場者：約50名]

日 時：平成25年10月13日(日) 11:30～14:30
場 所：全労済ソレイユ
内 容：リハビリテーション相談、作業療法体験

センターまつり2013 作業療法コーナー設置

[大会規模：約1000名／ブース来場者：約70名]

日 時：平成25年11月10日(日) 10:00～15:00
場 所：大分県社会福祉介護研修センター
内 容：プラ板作成、リハビリテーション相談

第3回ふるさとまつり 作業療法ミニフェスタ in 豊後大野

[大会規模：約2000名／ブース来場者：約100名]

日 時：平成25年11月10日(日) 9:30～15:30
場 所：フレッシュランドみえ
内 容：フラッグ作成、リハビリテーション相談

春日まつり 作業療法コーナー設置

[大会規模：約1500名／ブース来場者：約100名]

日 時：平成25年11月24日(日) 10:00～14:30
内 容：フラッグ作成、リハビリテーション相談

研修会等

【教育研修】

現職者共通研修Ⅳ [参加者：37名]

日 時：平成25年10月20日(日) 9:30～12:00
場 所：全労済ソレイユ
内 容：事例検討・事例報告7演題
コーディネーター：
工藤 友治 (教育研修部長/大分下郡病院)
中島 慎介 (永富脳神経外科病院)
牛島 奈津美 (博愛診療所)
村田 健太 (湯布院厚生年金病院)

現職者選択研修 (精神障害領域) [参加者：28名]

日 時：平成25年11月17日(日) 9:30～16:40
場 所：ホルトホール大分
内 容：①「精神科作業療法の基礎知識」
②「精神科作業療法の展開方法」
③「精神科作業療法の実践」
④「精神科作業療法関連のトピックス」
講 師：香山 明美
(日本作業療法士協会理事/宮城県立精神医療センター)

臨床実習指導者育成道場① [参加者：11名]

日 時：平成25年11月10日(木) 9:30～12:40
場 所：日田市総合体育館研修室
内 容：①「臨床実習とは」
講 師：後藤 英子
(常務理事/大分リハビリテーション専門学校)
②「近年の学生の傾向 臨床実習における最低基準」
講 師：甲斐 裕介
(企画調整部長/藤華医療技術専門学校)
③「グループワークⅠ」
④「臨床実習指導方法論」
講 師：山田 祐成 (大分西支部長/博愛診療所)
⑤「グループワークⅡ」
講 師：佐藤 孝臣 (副会長/株)ライフリー)

臨床実習指導者育成道場② [参加者：11名]

日 時：平成25年11月21日(木) 19:30～21:30
場 所：日田市中央公民館
内 容：①「グループワークⅢ」
②「課題発表」

管理運営に関する研修会 [参加者：29名]

日 時：平成26年1月19日(日) 9:30～11:30
場 所：全労済ソレイユ
内 容：「リスクマネジメント」～事例を通じて～
講 師：日隈 武治 (副会長/湯布院厚生年金病院)

【学術研修】

第31回全体研修会 [参加者：64名]

日 時：平成25年10月6日(日) 10:00～16:20
場 所：大分県消費生活・男女共同参画プラザアイネス
内 容：「生活行為向上マネジメント」
①生活行為向上マネジメント総論
②マネジメントツール説明・演習
③グループ演習
④実践報告 4題
講 師：佐藤 友美 (総務部長/介護老人保健施設 健寿荘)

学術技能研修会Ⅴ [参加者：29名]

日 時：平成25年10月17日(木) 19:30～21:00
場 所：大分県作業療法協会ビル
内 容：「発達障害児・者に対する支援の実際」
～事例を通して～
①事例発表1 永松 謙一 (博愛病院)
②事例発表2 山田 帆真麗 (大分下郡病院)
③グループワーク
コーディネーター：黒崎 浩 (大分療育センター)
荒木 良夫 (藤華医療技術専門学校)

学術技能研修会Ⅵ [参加者：89名]

日 時：平成25年11月3日(日) 10:00～15:00
場 所：大分県消費生活・男女共同参画プラザアイネス
内 容：認知症初期集中支援チームに対応するOTに求められること
①認知症の世界、日本の動向を含め現在の課題について
②初期集中の必要性・作業療法士がどのように動けるか
講 師：小川 敬之 (日本作業療法士協会理事/九州保健福祉大学保健科学部作業療法学科教授)

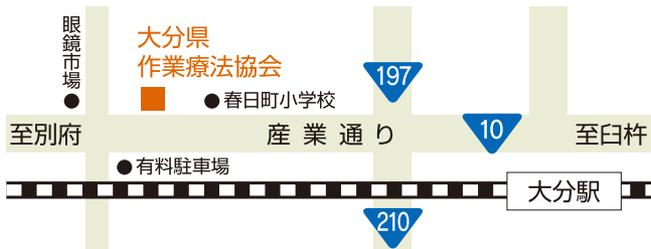


作業療法士は、

障がいと折り合いをつけながら、生き生きとした生活を送れるよう、仕事、遊びなどの日常生活のなかでの活動(作業)をとおして、こころとからだを元気にするリハビリテーションの国家資格を有する専門職です。



リハビリテーションのことや、作業療法のことでは分からなかったり、お困りのことがありましたら、右記までご連絡ください。



公益社団法人 大分県作業療法協会
〒870-0038 大分県大分市西春日町3-2 大分県作業療法協会ビル
TEL:097-547-8662 FAX:097-547-8663
<http://www.oita-ot.com/>